

平成26年度
おみたま
ふるさと塾
閉講式



グループ討議発表

【発表テーマ】

「私たちの
住みたいまち」

【発表】

- チーム「自理通(じりつ)」
- チーム「人にやさしい」



主催：小美玉市 / 後援：小美玉市まちづくり組織連絡会

「私たちの住みたいまち」

チーム「自理通」
(自らが理に通じる)

1

住んでみたいまちとは？

メンバーそれぞれが自分の思う「住んでみたいまち」

【メンバーの思い】

子どもの声のするまち、子どもが安心してあそべるまち、支えあえるまち、お店がたくさんあるまち、近所に頼れる人がいるまち、若者がたくさんいるまち、きれいなまち、子どもの声のはじけるまち、活気のあるまち、隣同士のつきあいのあるまち……………etc

【結果】

たくさんの「住んでみたいまち」が出てきた。

チームで考える。

チーム「自理通」にとっての「住んでみたいまち」

【チームの中で多かった思い】

- 日常生活上のルール等が守れるまち
- 皆が助け合うまち
- 支え合えるまち
- 人とのつながりがあるまち
- 隣同士のつきあいのあるまち
- 近所に頼れる人がいるまち
- 互いに顔が見えるまち
- 挨拶が聞こえるまち
- 心の近さが感じられるまち

この思いを元に、チーム「自理通」にとっての「住んでみたいまち」を話し合った結果、

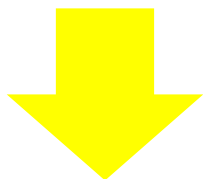
『自分達で工夫して行動するまち』

これがチームとして**目指す**ところ（目標・目的・理想）

目指すために、すべき事。

「自分達で工夫して行動するまち」にするために

- ① あいさつ
- ② ボランティア活動（清掃活動・草刈活動）
- ③ 地域活動（コミュニティ活動・防犯パトロール）



共に地域で生きる、住民と行政。それぞれの役割を考えてみる。

住民の役割

- 地域において自らが積極的に挨拶をする。
- 市、地域イベントに積極的に参加する。
- 防災・防犯に対して備えをしっかりとる。
- 若い人たちが気安く参加できる場づくりをする。
- 地域課題を地域で考え、地域で解決する。

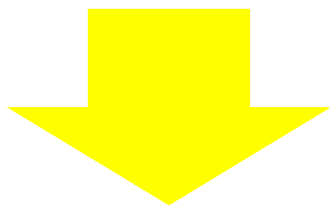
行政の役割

- 情報提供（防災・防犯制度）
- 提供された情報を活かす共有の場を設ける。
- 行政の相談窓口の明確化
- 市民活動団体相互の情報共有の場
- 市民活動をアドバイスできる人材の育成

求められるもの。

これからの「未来」の為に、必要な意識や考え方

- 自ら考え、自らが行動する
- 現状の把握と将来のビジョン（住民と行政の役割の明確化）
- 他人事だと思わない
- 地域住民同士で地域環境を守るために課題を具現化する



まとめると・・・

共存する意識 = 住む人が「主役」で輝く事

5

こんなまちに住んでみたい。

共存する意識

自分達で工夫して行動するまち
全員が主役で、全員が輝きだす。
そんなまち

「みんなが主役の輝くまち」



そんなまちに住んでみたい……

ご静聴、ありがとうございました。

チーム「自理通」
(自らが理に通じる)

「私たちの住みたいまち」

チーム「人にやさしい」

1

住んでみたいまちとは？

メンバーそれぞれが自分の思う「住んでみたいまち」

「自分だったらどんな町に住みたいか？」

【進め方】

- メンバー同士で10分の間、付箋に書いて発表。
- ポイントは「実現性」は考慮せず、「自由な発想」で。
(例：美術館がある町、散歩コースが充実している町etc...)

住んでみたいまちとは？

付箋に書いた、「住みたいまち」の数

- ・商業施設があるまち
- ・シニアがいきいきしてるまち
- ・イオンのような複合施設を作らないまち)
- ・子どもに声をかけるまち
- ・高齢者にも住みよいまち
- ・交通の便が良いまち
- ・かわいい服の売っているお店があるまち etc...

書いた数・・・



70
個以上!!!

3

「住みたいまち」を絞りこむ。

70個以上の「住んでみたいまち」を仕分ける

どんなまちかジャンルで考える。

70個以上ある「住みたいまち」。これを仕分けするためのジャンルを考えた。

- ① 住民主体
- ② コミュニティ
- ③ 景観

2つの「視点」で絞り込む。

70個以上のまちをジャンル分けをして、さらに絞りこんでいく

視点：①自己実現②共感

【住民主体】

- あいさつが気軽に出来るまち
- ゴミのポイ捨てのないまち
- 笑顔で近所づきあい出来るまち
- 一人暮らしにやさしいまち
- 身近な人から助け合うまち
- ボランティア活動が無理なくできるまち

【コミュニティ】

- 若い人がコミュニティに参加できるまち
- 歴史や伝統があるまち
- 高齢者と学生が共同してイベントをひらくまち
- いつでもいけるコミュニティスペースがあるまち

【景観】

- 花があるまち

地域に対して出来る事。

ジャンル事に分けた「住みたいまち」、その中にある「思い」

ジャンルごとに、それぞれを深く掘り下げて「自分達が出来事」は何かをメンバーの中で議論して共有した。

議論
・
共有

【自分達が出来事】

住民主体：支え合い、助け合い、理解し合う
コミュニティ：施設ではなく、楽しい場所にする
景観：地域活動（地域を良くしたい）

「自分達が出来事」を満たすもの・・・

『近所づきあい』をしていく。

6

こんなまちに住んでみたい。

これからの「近所づきあい」のありかた。

- あいさつと笑顔が溢れる
- 新しく住む人も、昔から住む人も理解し合う

「ぬくもりがあるまち」

ご静聴、ありがとうございました。

チーム「人にやさしい」